

# 週報



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

福岡中央  
ロータリークラブ

「UNITE FOR GOOD」  
2025-2026年度 国際ロータリー会長  
Francesco Arezzo

よいことの  
ために  
手を取りあおう



「少しの成長から始まります  
ー1.01で成長、0.99で衰退ー」

国際ロータリー第2700地区  
2025-2026年度 ガバナー 濱野 良彦

「「PLUS」～少しの成長、そして確実な成長～」

2025-2026年度 福岡中央ロータリークラブ

会長 竹下 盛人 幹事 田中 明子

本日の例会 令和7年12月1日（第2131回）VOL.49 No.16

卓 話

「目の老化と病気のサインの見極め方」

福岡中央ロータリークラブ 平田 憲会員

疾病予防と治療月間

今後の  
例会予定

- ・12月 8日(月) 忘年家族懇親会（18:00～ 西鉄グランドホテル）
- ・12月14日(日) 奉仕活動例会（ジュニア美術展表彰式 10:00～福岡県立美術館）
- ・12月15日(月) 休会（14日(日)の振替）

「今津湾の秋の夕暮れ」



今宿から西浦、二見が浦方面に向かうと瑞梅寺川が流れ込む今津湾と今津橋に出会います。今津湾はカブトガニとクロツラヘラサギなどの渡り鳥の越冬地でも有名です。秋の夕暮れ今津の夕日と渡り鳥のシルエットが一日の終わりを告げています。今津湾を隔てて糸島富士と言われ加耶山の向こうに沈む夕日が印象的です。山手誠之助

例会日…毎週月曜日 12:30～13:30 例会場・事務局…西鉄グランドホテル  
TEL 714-0305 FAX 714-0311 E-mail fukuoka-chuo-rc@wind.ocn.ne.jp HP <http://www.fukuoka-chuo-rc.jp>

## 前週例会の記録(11月17日)

### 出席報告

前回例会 11月17日	前々回例会 11月10日
会 員 数 53名	会 員 数 53名
出席会員 41名	出席会員 40名
ビジター他 3名	修 正 2名
合 計 44名	免 除 0名
出 席 率 77.36%	修正後出席率 79.25%

-来訪者内訳-

福岡RC1名・鳥栖RC1名・衛星クラブ1名

計 3名

### ロータリーソング

原 志津子 ソング委員長

・我等の生業 ・季節の歌(もみじ)

### 会長の時間

竹下 盛人会長



今回は11月10日に、クラブフォーラムとして、皆さんがテーブル毎にわかれ取り組んで頂きました、5つの課題についての協議結果を、紹介させて頂きます。

原稿は、皆様のお手元に配布されておりますが、私の方で課題を項目毎に取り纏めましたので、こちらをご覧ください。

<50周年事業>

「記念植樹」と「支援金給付金」への取り組みが多かったです。歴史を振り返れば、40周年は熊本地震への義援金、30周年は西方沖地震被害子ども達への支援、25周年は中津村記念植樹、20周年は青少年育成基金の継続、15周年は青少年育成基金の設立となっております。

<新しい奉仕事業>

現状の継続が多いように思われます。他のクラブより充分取り組んでいるとの声もあります。

<新入会員増強・若い方の入会>

衛星クラブ、アクトへの勧誘強化が多かったです。又、その卒業生としての出口がロータリーという「道筋立」をしっかり作る事が必要との意見も重複しました。

<会員同士の親睦>

是は、我がクラブの特徴か、皆さん「親睦」「交流」そして「コミュニケーション」はよく取れているという回答でした。

<寄付>

皆さん、「各自の判断に委ねる」を前提ですが、「可能な限り努力する」「積極的に行いたい」とお答えになっています。また「ロータリーに属する事で、社会貢献出来ていると感じる」という回答が印象的でした。

皆様のロータリアンとしての前向きなご検討、そしてご回答、有難う御座いました。その姿勢に感謝申し上げます。「会長の時間」でした。

### 2025-2026年度 クラブフォーラム

2025.11.10

・50周年事業は何をしたいですか？

A：寄付（周年事業完了後、余ったお金）

B：植樹（場所の検討）

C：植樹（福岡空港）

DE：支援金制度の設立（NPO子供の村へ継続的且つ実行性のある支援にて、社会奉仕に寄与）

※過去の実績 40周年「台北忠孝RC」合同で義援金（熊本地震）

30周年 玄海島の子供たちの絵や文章を陶板にして設置（西方沖地震）

25周年 中津江村 記念植樹

20周年 青少年育成基金を継続

15周年 “ ” を設立

F：「障がい者スポーツ」への支援

G：“ ” への寄付

H：記念誌 全会員参加のイベント開催

・新しい奉仕事業はどのようなことをやって行けば良いと思いますか？

A：自然保護活動（衛星、アクト合同活動）

B：現状の継続

C：“ ”（特定の会員の負担を分担する等、やり方を見直す）

DE：“ ”（ジュニアバレーボール 1980年度開始

県立図書館へ

「録音図書ケース寄贈」 1982年度開始

ジュニア美術展 2001年度開始

F：“ ”

G：障がい者スポーツイベントの開催

H：現状の継続

・更なる新入会員を増やすためにはどうしたら良いでしょうか？

若い方の入会を増やすためにはどうしたら良いでしょうか？

A：広報（中央ロータリーの魅力をどう伝えるか要検討）

B：衛星クラブへの勧誘強化

C：アクトへの勧誘強化（卒業生の出口としてロータリー）

女性会員の増強

DE：声かけの徹底・リーフレットの作成

F：会費を安くしては？・声掛けの徹底・「卓話」をしてもらう

G：「卓話」へ招待（スタートアップ経営者をターゲット）

H：衛星クラブ、アクトへの勧誘強化（アクト卒業→エンジョイ→ロータリーの道筋立て）

同業者又は顧客への勧誘

開催日の検討

・会員同士の親睦は十分とれていると思いますか？

もっと親睦を図る方法があるとなれば、どのような方法がありますか？

A：取れている（テーブル会の運営で「自己紹介」のルール化）

B：取れている

C：取れている（丁度良い）

DE：取れている（他クラブ→コースス同好会、名酒会、迷写会、囲碁の会、お座敷勉強会）

料理勉強会、ジョギング&ウォーキング同好会…etc

F：取れている（女性会員が増え、コミュニケーションが活発になった）

G：取れている（ “ ” ）

H：取れている（更に、趣味の「クラブ活動」導入も…）

・ロータリーには様々な寄付がありますが、寄付についてどのような考えをおもちですか？

A：可能な限り努力する（使用用途を明確にしたい）

B：各自に委ねる

C：ロータリーに所属する事で社会貢献できていると感じることが出来る。

DE：目的・使い道を考える（困っている事、欲しい物など行政と協議する）

F：積極的にすべき

G：可能な限り積極的に行いたい

H：会費内で納まるのであれば一番良い